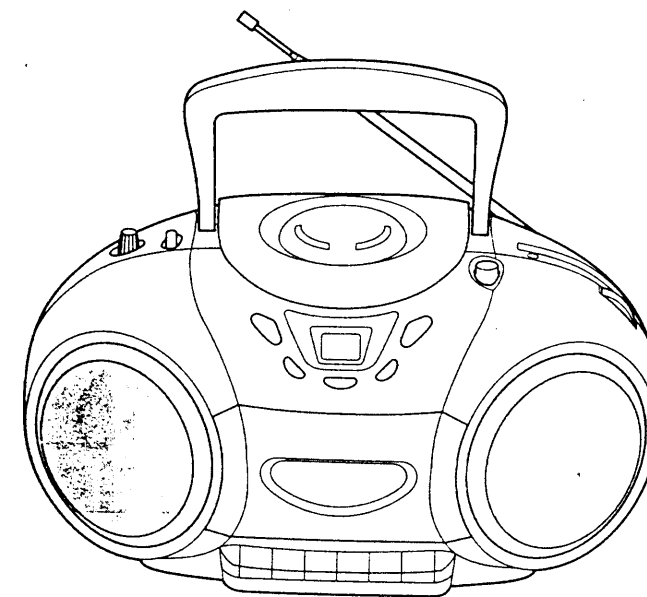


日立CDラジオカセットレコーダー CX-77S

このたびは、日立CDラジオカセットレコーダーをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後はいつでも見られる所に保証書、ご相談窓口一覧表と共に大切に保管してください。

目次

	ページ
安全上のご注意 (必ずお読みください)	2
一般的なご注意	6
特長	7
電源について	8
各部の名称	9
ファンクション切換/電源スイッチについて ...	10
音量調節について	10
ヘッドホンでお聴きになるとき	10
コンパクトディスクについて	11
CDを演奏してみましよう	12
CD演奏の便利な使いかた	14
•ダイレクト選曲	
•スキップ選曲	
•マニュアルサーチ	
•1曲リピート	
•全曲リピート	
放送の受信	16
アンテナについて	17
テープ再生・録音を始める前に	18
再生してみましよう	19
録音するには (ラジオ録音)	21
録音するには (CD録音)	23
故障かな?と考える前に	24
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	25
著作権について	25
仕様	26



お客様メモ：サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日



—メモ—

 株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03) 3502-2111




本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用前に>

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

-  **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

 **警告**

■ 万一異常が発生したら

● 万一、煙が出ている、変なおいや音をするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



● 万一、内部に水などがいった場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 表示以外の電圧で使用しないでください

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● 本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶や自動車などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



■ 液体の入った容器などを置かないでください

● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。



安全上のご注意 (つづき)

警告

■風呂場などでは使用しないでください

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

- 本機に水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

■雷が鳴り出したら

- 雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

- 屋外で使用していて、雷が鳴りだしたら、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、機器から離れてください。落雷の原因となります。

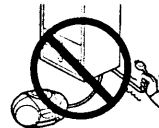


■電源コードを大切に

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■異物を入れないでください

- 本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク収納部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

■ふたをはずしたり、改造しないでください

- 本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

■交通事故に注意してください

- 自動車・オートバイなどの運転中、または自転車に乗りながら、絶対にヘッドホン、イヤホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。



- 歩行中に本機を聴く場合は、特に踏切や交差点などでは周囲の交通に十分注意してください。交通事故などの原因となります。



■電池について

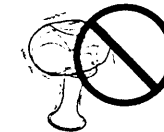
- 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



注意

■ご使用になる場所について

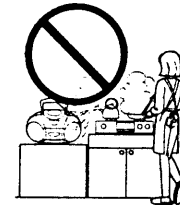
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの背面や底部などに通風孔があけてあります。



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



■電源コードを抜くときのご注意

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

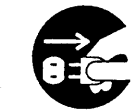


- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



■持ち運ぶときのご注意

- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

- 持ち運びをするときは、アンテナをたんでください。伸ばしたまま持ち運びをすると、アンテナが引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。



■電池の使用は

- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 長期間使用しないとき、常時AC電源でご使用になるときは、電池を取り出して置いてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。



- もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

■長期間ご使用にならないとき

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

⚠ 注意

■特に小さなお子様のいるご家庭では

- 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



- お子様がカセットテープ挿入口、ディスク収納部に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



指を挟まれないよう注意

■音量について

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■レーザー光源について

- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



■ディスク使用時のご注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



■日頃のお手入れについて

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



一般的なお注意

使用上のご注意

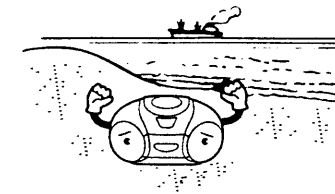
高温は故障の原因

直射日光のあたる場所やストーブのような熱器具の近く、および炎天下に駐車した自動車内で使用すると、ケースや部品に悪い影響を与えます。

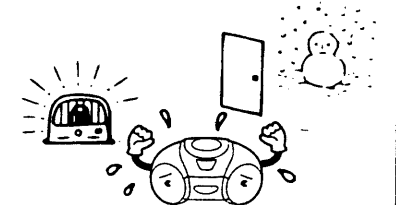


砂は禁物

海辺や砂地では使用しないでください。砂などが内部に入ると故障の原因になります。

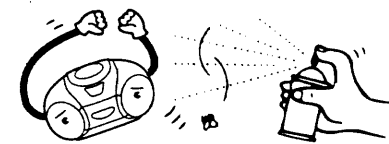


温度差のある所への移動は禁物
寒い所から急に暖かい所への移動は避けてください。故障の原因となります。



お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤー一部の信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて（結露現象）、正しく動作しないことがあります。このような場合には1～2時間待ってから使用してください。



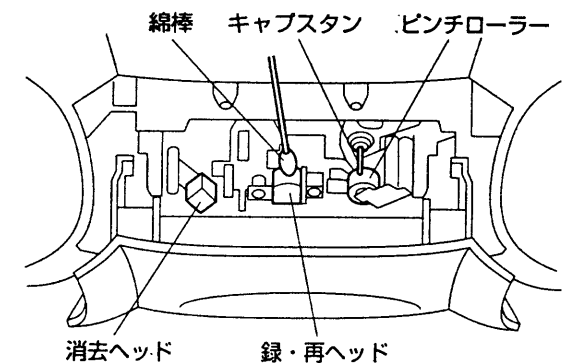
ヘッドの清掃

カセットレコーダーは使っているうちに、ヘッドなどテープ走行面がしたいに汚れます。汚れたままで使うと音がでなかったり、途切れたりします。約10時間使用しましたら、次の手順でヘッドの清掃を行ってください。

- ①電源を切り、停止/取出しボタンを押してカセットホルダーを開けます。
- ②綿棒に市販のクリーニング液をしみ込ませて、ヘッドやピンチローラー、キャプスタンを軽くふきます。

●ヘッドの消磁について

長時間使用して、高い音が出なくなったり、雑音が出たりしたときは、市販のヘッド消磁器でヘッドの消磁を行ってください。



超音波加湿器の使用について

本機の周囲での超音波加湿器の使用は避けてください。

本機の周囲で超音波加湿器を使用しますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがあります。

コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

特長

- 操作ボタンを必要最小限にとどめた操作の簡単なコンパクトCDラジオカセットレコーダー
- オートラウドネス機能
小音量で再生するときには、低域と高域を強調するオートラウドネス機能が自動的に働きますので聴きやすくなります。

チューナー部

- AM/FM/TV 放送受信
AM/FM/TV (1ch~3ch) が受信できます。

カセットレコーダー部

- CD/テープシンクロ録音
ワンタッチでCDを録音できます。ダイレクト選曲と組み合わせれば、ご希望の曲から録音することもできます。
- フルオートストップメカ
テープエンドで操作ボタンが自動的にもどる便利な機能を採用しています。

CDプレーヤー部

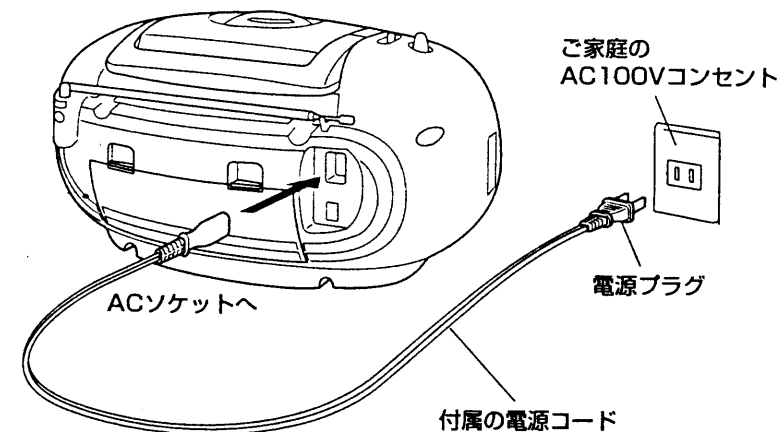
- スキップ選曲
スキップ/サーチボタンを使って演奏中に希望の曲に飛んで演奏をすることができます。
- ダイレクト選曲
スキップ/サーチボタンを使って、希望の曲から演奏を始めることができます。
- マニュアルサーチ
スキップ/サーチボタンを使い早送りまたは早戻しをしながら、ディスクの内容を聴くことができます。
- くり返し演奏
1曲または全曲のくり返し演奏をすることができます。
- 8cm ディスク演奏可能
12cmディスクに加えアダプターなしでそのまま8cmディスクの演奏ができます。

■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

電源について

ご家庭のAC100V電源で使うとき

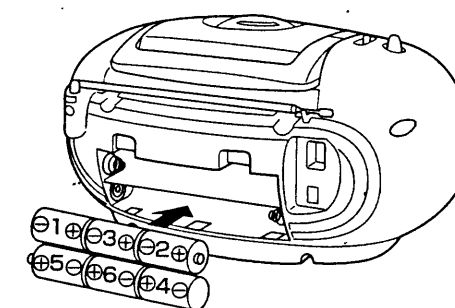
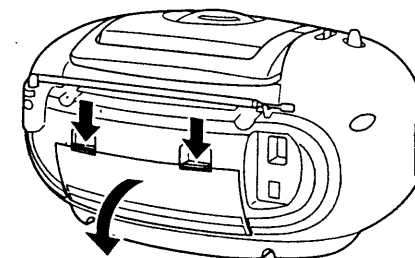


⚠ 注意

- 表示以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 他の電源コードは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

乾電池で使うとき

- 1 電池ふたの「つめ」を下に押しながら、ふたを開けます。
- 2 単2形乾電池（別売り）6本を番号順に図のように入れます。



- 電源コードがACソケットに接続されていると、乾電池では動作しません。（電源コードを抜いてください。）

乾電池の交換について

乾電池が消耗するとテープ速度が遅くなり、音がはずんだり、雑音が入るようになります。このようなときは乾電池を6本とも新しい乾電池に交換してください。

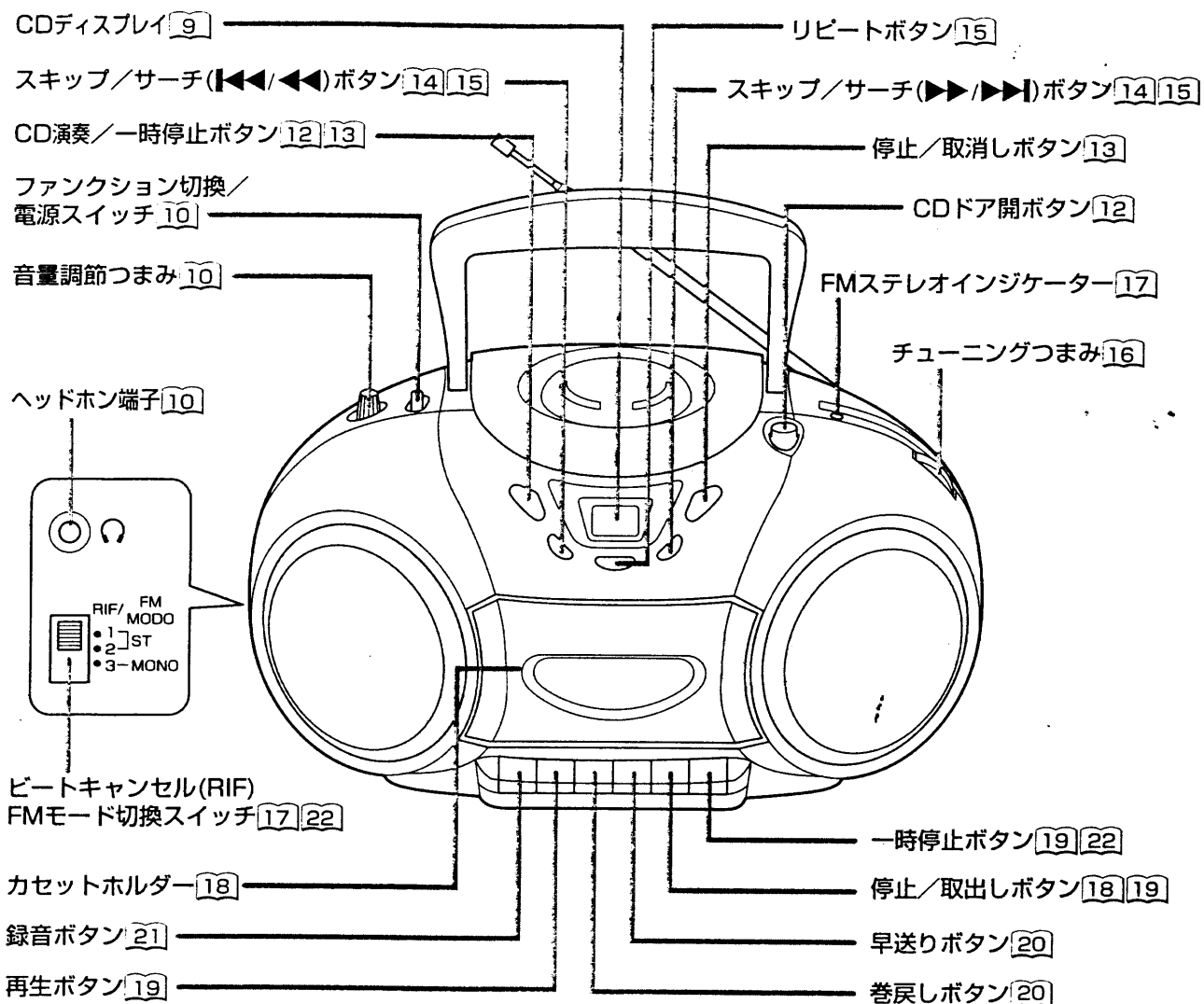
⚠ 注意

乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

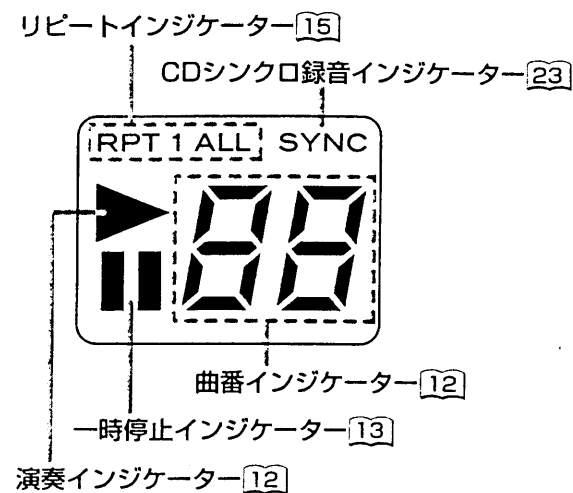
- ① 乾電池は、 \oplus プラスと \ominus マイナスの向きを間違えないよう、正しく入れてください。
- ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ③ 種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
- ④ 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り出しておいてください。
- ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

各部の名称

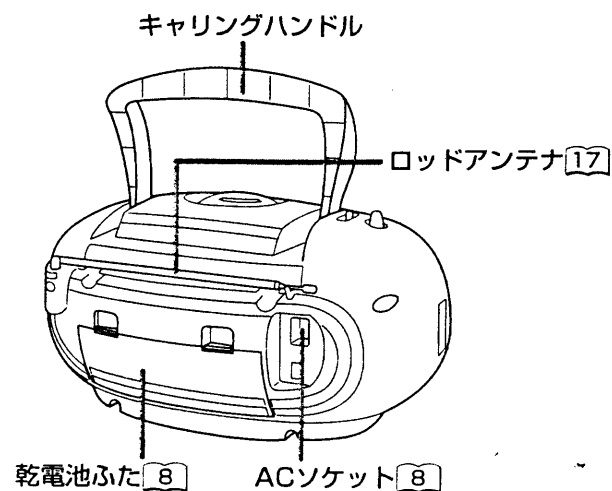
□内の数字は参照ページを示します。



CDディスプレイ



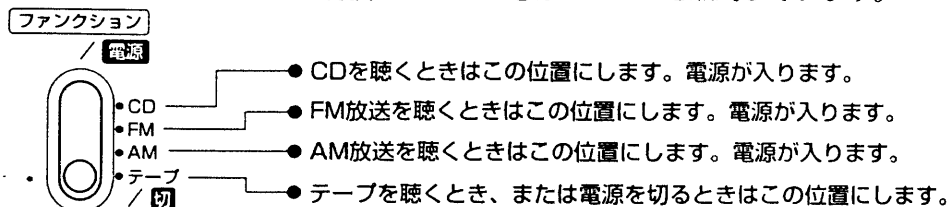
後面



ファンクション切換/電源スイッチについて

ファンクション切換/電源スイッチの使いかた

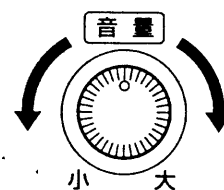
このスイッチはファンクション切換スイッチと電源スイッチを兼用しています。



電源スイッチが「切」になっていても、テープ操作をすると、電源が入ります。

音量調節について

音量調節のしかた



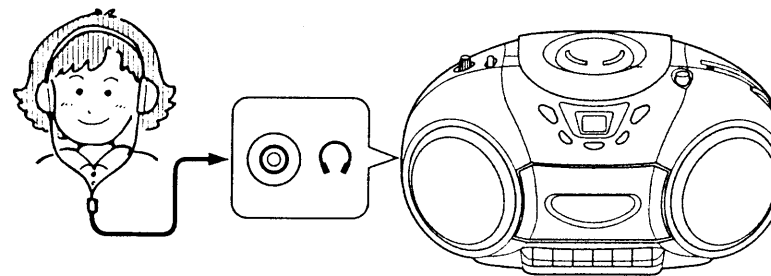
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。

音量についてのご注意

本機は、非常に小さな音から大きな音まで再生するため、音量を上げすぎると音がひずんだり、スピーカーを破損する恐れがあります。音量調節の位置に十分注意してください。

ヘッドホンでお聴きになるとき

夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホンのステレオミニプラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみで調節します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーからは音が出なくなります。



注意 ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

コンパクトディスクについて

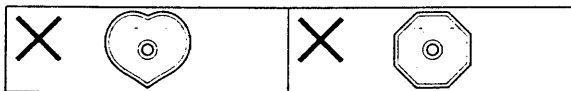


本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

- ① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。
- ② センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。
- ③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

■ディスクについてのご注意

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面にCompact Discのマークが入ったものなどJIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



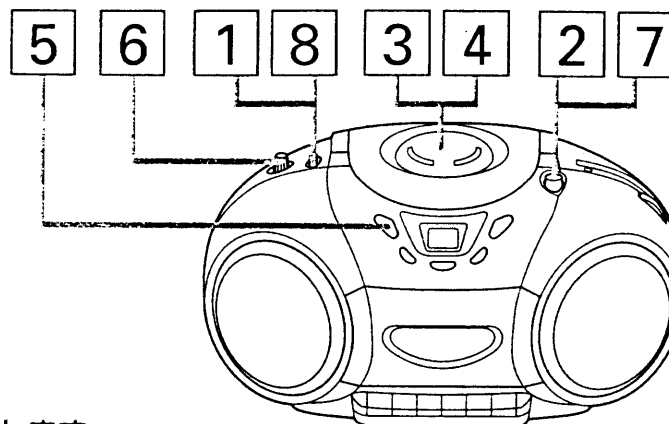
取り扱いについて

- 指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。
- 熱を加えないでください。
- 曲げたりしないでください。
- 表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。
- 屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさしないでください。

保管について

- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたる場所。
 2. 湿気、ほこりが多い場所。
 3. 暖房器具などの熱が当たる場所。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

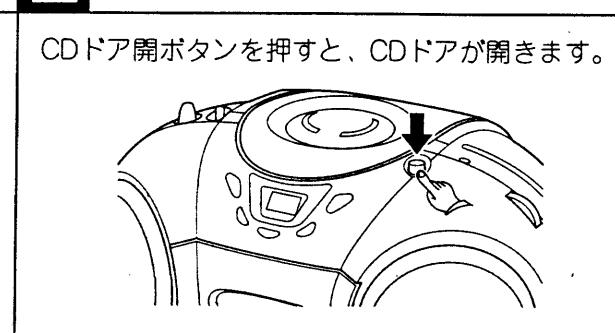
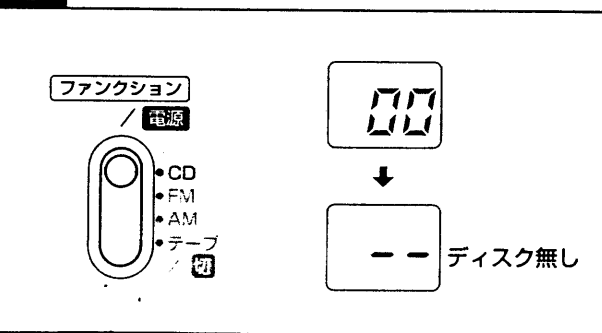
CDを演奏してみましょう



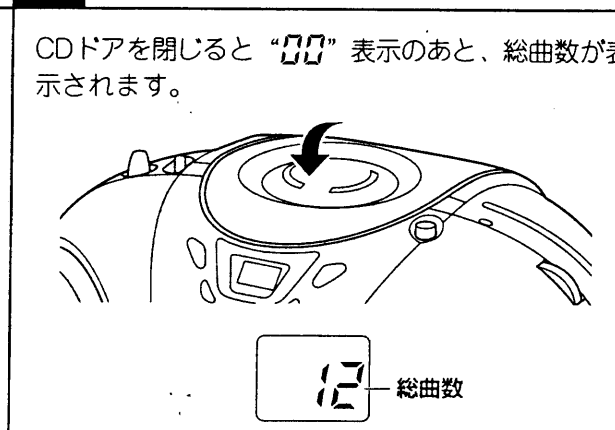
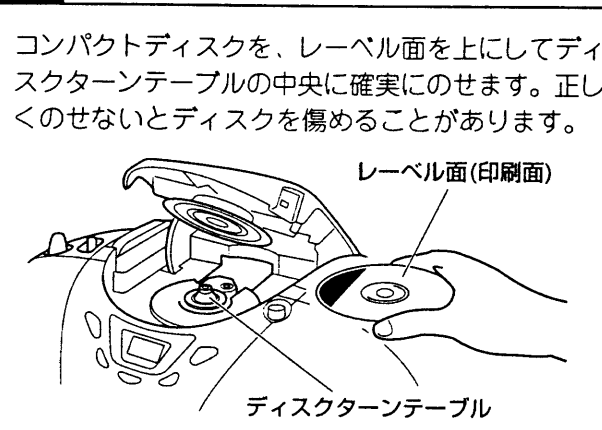
番号は操作手順を示します。

たとえば12曲入りのディスクの1曲目から演奏を始めるには

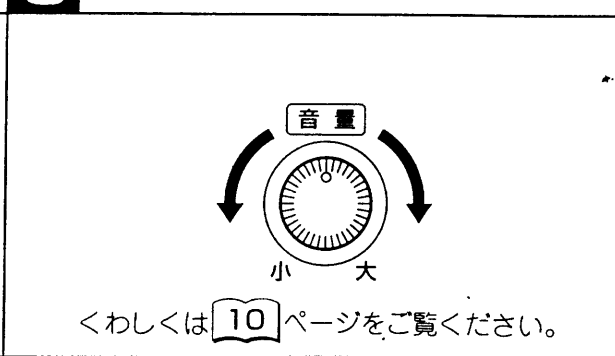
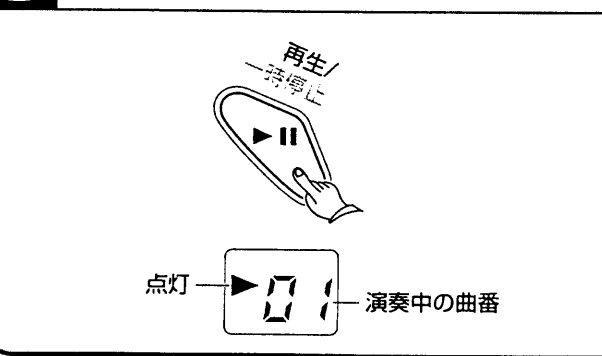
- 1 ファンクション切換スイッチを「CD」にする。
- 2 CDドアを開ける。



- 3 ディスクをセットする。
- 4 CDドアを閉じる。



- 5 演奏を始める。
- 6 音量を調節する。



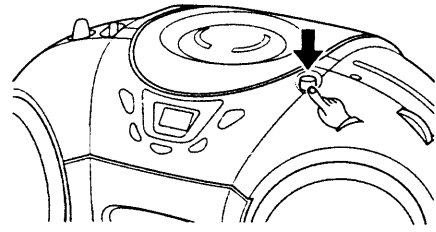
くわしくは10ページをご覧ください。

CD演奏の便利な使いかた

聴き終わったら

7 ディスクを取り出す。

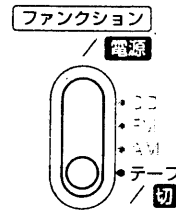
必ず停止ボタンを押してからCDドア開ボタンを操作してください。



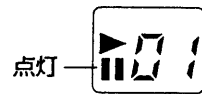
ディスクを取り出したらCDドアを閉めます。

8 電源を切る。

「テープ/切」の位置にします。



演奏の一時停止



演奏が一時停止しますが、ディスクは回転しています。もう一度ボタンを押すと、止めたところから演奏を再開することができます。

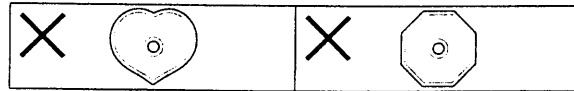
演奏を途中で止めるとき



すべての演奏が終了したときは、自動的に止まります。

ご注意

- 演奏中にCDドアは絶対に開けないでください。故障の原因になります。CDドアは必ず停止ボタンを押してから開けるようにしてください。
- 携帯しながらの演奏などで、本機に衝撃が加わったときなどに音とびが生じることがありますが、これは故障ではありません。
- ディスク収納部に異物を入れたり、CDドアを無理に手で開閉したりしないでください。故障の原因になります。
- CDプレーヤーを使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐため、CDドアを閉じておいてください。
- テレビの近くでCDを演奏すると、テレビの画面や音声に影響を与えることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面に「CD」のマークが入ったものなどJIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



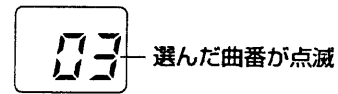
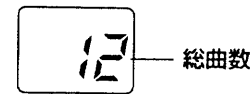
好きな曲から演奏を始めるには ダイレクト選曲

演奏する前に、スキップ/サーチボタンで好きな曲番を選んでください。その曲番から演奏を始めます。

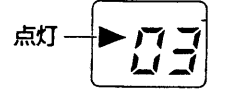
たとえば12曲入りのディスクの3曲目から演奏を始めるとき

停止状態から操作します。

1 曲番を選ぶ。



2 演奏を始める。



- スキップ/サーチボタン (▶▶/▶▶) は、停止中に押し続けると連続して曲番が変わります。最終曲でさらに押し続けると1曲目に戻ります。
- 左向きのスキップ/サーチボタン (◀◀/◀◀) を押すと前の曲へ戻ります。1曲目でさらに押し続けると最終曲に戻ります。

演奏中に好きな曲へ飛ぶには スキップ選曲

たとえば5曲目演奏中のとき

次の曲 (6曲目) を聴く



スキップ/サーチ
「ボン」と1回押す

1回「ボン」と押すと、次の曲へ移り、押す回数により次の曲、次の曲へと移ります。

もう一度 (5曲目) 聴く



スキップ/サーチ
「ボン」と1回押す

1回「ボン」と押すと、今聴いている曲の頭に戻ります。

前の曲 (4曲目) を聴く



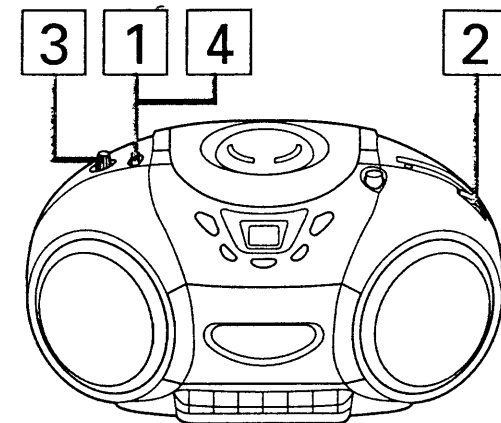
スキップ/サーチ
「ボン」「ボン」と2回押す

連続して2回「ボン」「ボン」と押すと前の曲に戻り、押す回数により前の曲、前の曲へと戻ります。

ご注意

スキップ選曲を行なうときは、ボタンを「ボン」と短く押してください。スキップ/サーチボタンはスキップボタンとサーチボタンを兼用しているため、演奏中に押し続けるとマニュアルサーチ (15 ページ参照) 動作になります。

放送の受信



演奏中にすばやく好きなところをさがすには.. マニュアルサーチ

演奏中にスキップ/サーチボタンで早送り/早戻しができます。

早送り (前進)



指をはなすと通常の演奏に戻ります。

早戻し (後退)



指をはなすと通常の演奏に戻ります。

マニュアルサーチについて

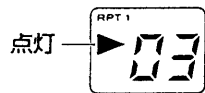
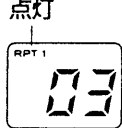
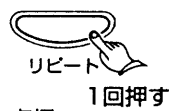
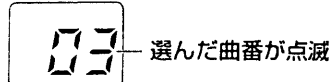
- 演奏中にスキップ/サーチボタンを押し続けると、音を聴きながら好きなところをさがせます。
- マニュアルサーチ中は、通常の演奏より小さな音になります。
- 一時停止状態でマニュアルサーチを行なうと、音を出さずに早送りや早戻しができます。
- 早戻しでマニュアルサーチ中にディスクの1曲目の始めまで戻ると1曲目の始めから演奏が始まります。(一時停止状態の場合には、1曲目の始めて一時停止状態となります。) また早送り最終曲の終わりまでくると停止状態になります。

1曲だけくり返し演奏するには 1曲リピート

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

たとえば12曲入りのディスクの3曲目をくり返し演奏するには

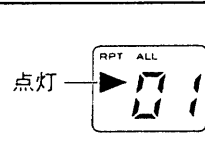
- 1 曲番を選ぶ。
- 2 1曲リピートモードにする。
- 3 演奏を始める。



全曲をくり返し演奏するには 全曲リピート

停止状態あるいは演奏中でも操作できます。

- 1 全曲リピートモードにする。
- 2 演奏を始める。



くり返し演奏の取り消し



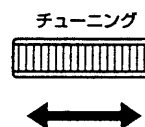
- リピートボタンを押し (1曲リピートの場合は2回、全曲リピートの場合は1回) リピートインジケータを消灯させます。
- 停止ボタンを押して演奏を停止したときも、くり返し演奏は取り消されます。

番号は操作手順を示します。

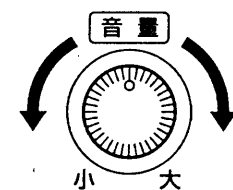
- 1 ファンクション切換スイッチを「FM」または「AM」にする。
- 2 放送局を選ぶ。



10 ページの「ファンクション切換/電源スイッチの使いかた」をご覧ください。



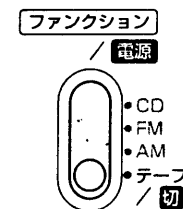
- 3 音量を調節する。



くわしくは10 ページをご覧ください。

聴き終わったら...

- 4 電源を切る。



「テープ/切」の位置にします。

ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM 放送に雑音が入ることがあります。また、テレビ放送を受信していると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用していますので、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

テープ再生・録音を始める前に

ビートキャンセル/FMモード切換スイッチについて

このスイッチはビートキャンセル切換スイッチとFMモード切換スイッチを兼用しています。

FMモード切換スイッチ

FM放送をステレオで聴くとき
ステレオ放送を受信すると、FMステレオインジケータが点灯しステレオでお聴きになれます。

FM放送をモノラルで聴くとき
放送をステレオで聴くとき雑音が多かったり、音声が途切れるような場合には、この位置にします。ステレオで聴くことはできませんが、雑音や音切れが軽減されます。

●TV(1~3cH)およびAM放送は常にモノラル受信となります。

FMステレオインジケータについて

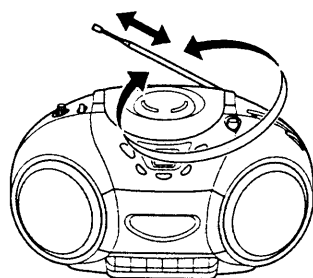
FMステレオインジケータ

FMステレオ放送をステレオで聴くときFMステレオインジケータが点灯します。

アンテナについて

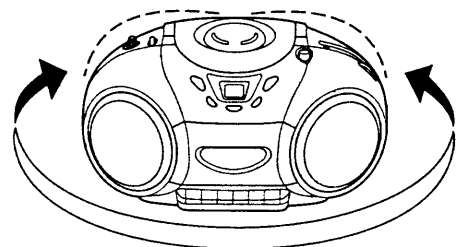
●ラジオ、TV放送を聴くには、アンテナが重要なはたらきをします。

FM放送、TV放送を聴くとき



ロッドアンテナを伸ばし、角度・方向・長さを調節して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる位置を選びます。

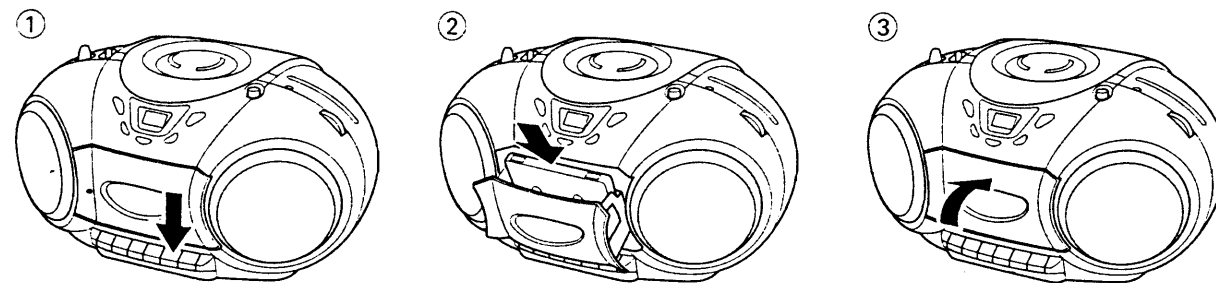
AM放送を聴くとき



本機をゆっくり回して、雑音が最も小さく、放送がきれいに聴こえる方向を選びます。

●FM放送やTV放送をお聴きになるとき、他の放送と混信する場合には、ロッドアンテナを縮めてください。

カセットテープの入れかた



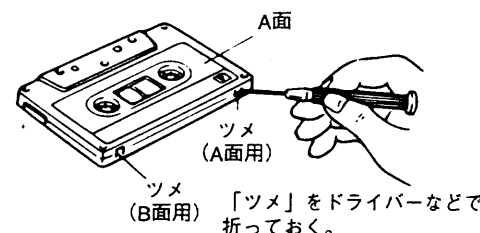
① 停止/取出しボタン(■/▲)を押します。

② テープの見える方を下にして録音や再生したい面を手前に入れてます。

③ カセットホルダーを閉じます。

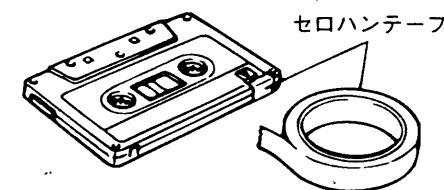
カセットテープについて

大切な録音内容を誤って消さないようにするには



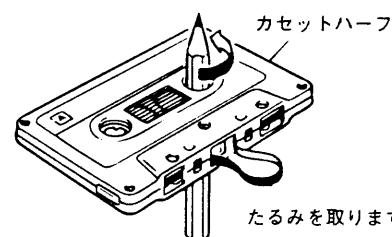
録音すると、前に録音した内容は消えてしまいます。「ツメ」の部分を折り取ると録音できなくなり、誤って消すことはありません。

「ツメ」を折ったテープに録音するには



穴の上にゼロハンテープを貼ると、録音ができるようになります。

テープがたるんだときは



たるみを取ります。鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。

使用できるテープについて

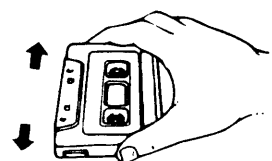
本機で録音、再生できるテープはノーマルテープ(TYPE I)のみです。

C-120テープは

このテープは薄いため、テープがかたく巻きまったり、テープ巻き込み、からみなどの原因となりやすいので、できるだけ使用をさけてください。

テープがかたく巻きしまったときは

テーブルなどの上でカセットテープの両面を軽く数回たたか、一度巻き直してからご使用ください。



エンドレステープ

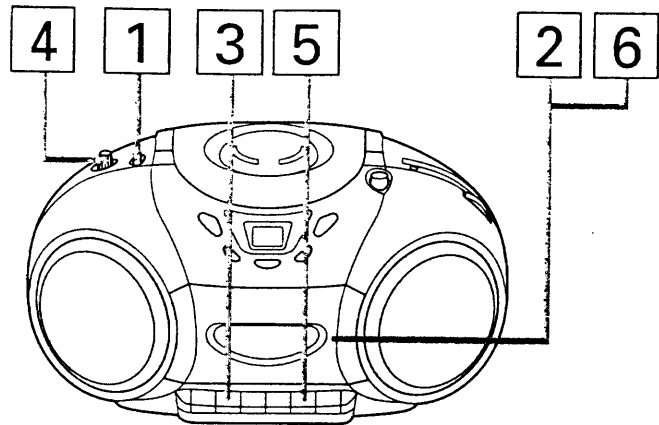
本機でエンドレステープを使用することはできません。

保管するときは

プラスチックケースに入れ、直射日光、高温多湿、磁気およびほこりの多い場所をさけてください。

再生してみましよう

●本機で再生できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。

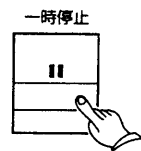


番号は操作手順を示します。

<p>1 ファンクション切換スイッチを「テープ」にする。</p>	<p>2 テープを入れる。</p> <p>18 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがってカセットテープを入れます。</p>	<p>3 再生を始める。</p>
<p>4 音量を調節する。</p> <p>くわしくは 10 ページをご覧ください。</p>	<p>聴き終わったら…</p> <p>5 テープを止める。 6 テープを取り出す。</p> <p>もう一度停止/取出しボタンを押すと、カセットホルダーが開きます。</p>	

再生中の一時停止

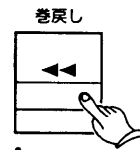
再生するときは、もう一度押します。



再生してみましよう (つづき)

巻戻し、早送りは

●巻戻し



●早送り



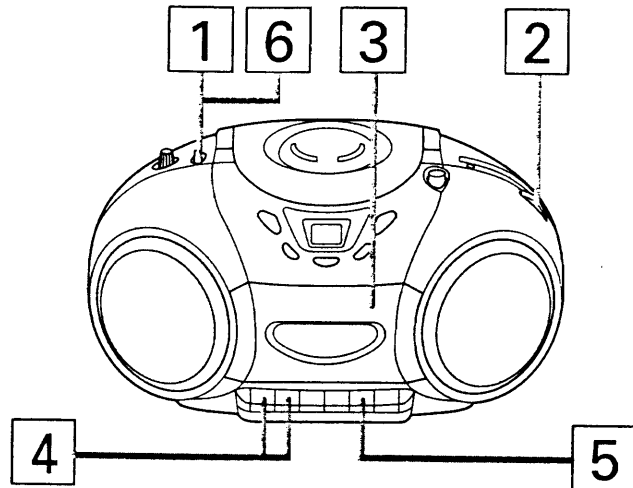
巻戻し、早送りを行なうときは、停止/取出しボタンを押して、停止状態にしてから操作してください。

フルオートストップ機構について

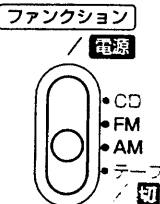
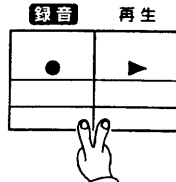

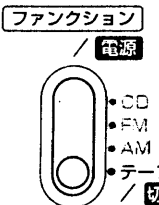
再生、録音、早送り、巻戻しのとき、テープが最後までくるとテープは自動的に停止し、押されているボタンも元に戻ります。

録音するには ラジオ録音

●本機で録音できるテープはノーマルテープ (TYPE I) のみです。



●番号は操作手順を示します。

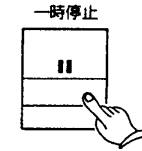
<p>1 ファンクション切換スイッチを「FM」または「AM」にする。</p>  <p>10 ページの「ファンクション切換/電源スイッチの使いかた」をご覧ください。</p>	<p>2 放送を受信する。</p> <p>16 ページ</p> <p>録音したい放送を選びます。</p>	<p>3 テープを入れる。</p> <p>18 ページ</p> <p>「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するカセットテープを入れます。 ※「ツメ」が折れているテープは録音できません。</p>
<p>4 録音を始める。</p>  <p>録音ボタンと再生ボタンを同時に押します。 ●録音レベルは自動的に調節されます。</p>	<p>録音が終わったら...</p>	
<p>5 テープを止める。</p> 		<p>6 電源を切る。</p> <p>「テープ/切」の位置にします。</p> 

一時停止状態にしてから録音を始めるには

1. カセットテープを入れた後、一時停止ボタンを押します。
2. 録音ボタンと再生ボタンを同時に押し、録音一時停止状態にします。
3. 録音を始めるには、もう一度一時停止ボタンを押します。

録音するには ラジオ録音 (つづき)

録音中の一時停止



録音を再開するときはもう一度押します。

録音するときの注意

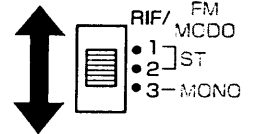
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試しに録音して正常に録音されていることを確認してください。
- ご使用中、万一本機やテープなどの不具合により、録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機は、ハイポジションテープおよびメタルテープでの録音はできません。(音質が悪くなったり、録音済の音が消えない現象が起きます。)

録音内容を消去するには

録音済みのテープに新しく録音すると、前の録音内容は消えますが、新しい録音をしないで前の録音内容を消したいときは、次のようにします。
●ファンクション切換スイッチを「テープ」にして録音の操作を行ないます。

上手に録音するには

- カセットテープの巻き始めと巻き終わりの部分には、透明または半透明のリーダーテープがありますが、この部分には録音できません。鉛筆などを使ってあらかじめリーダーテープ部を巻き上げておくと、頭切れのない録音ができます。
- AM放送を録音中、「ピー」というビート音が出る場合は、側面のビートキャンセルスイッチを切り換えてビート音が最も小さくなる位置にします。

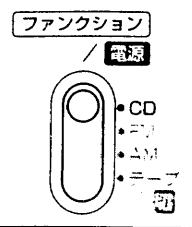
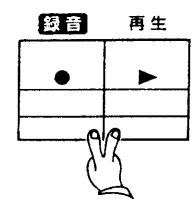
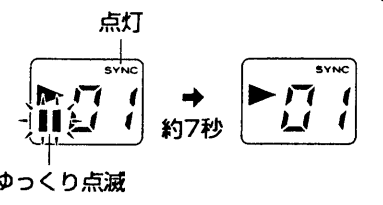
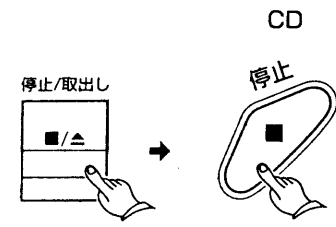
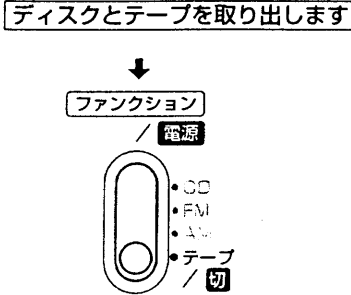


著作権について

あなたが本機で録音したものは、個人で楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。(25 ページ参照)

録音するには CD録音

ワンタッチでCDを録音するには CDシンクロ録音

1 ファンクション切換スイッチを「CD」にする。 	2 ディスクをセットする。 12 ページ 「CDを演奏してみましょう」の 2 ~ 4 の操作を行います。	3 テープを入れる。 18 ページ 「カセットテープの入れかた」にしたがって録音するテープを入れます。
4 CDシンクロ録音開始。  <p>録音ボタンと再生ボタンを同時に押すと、CDは約7秒間一時停止状態(II)になり、その後CDの録音が始まります。 ●録音レベルは自動的に調節されます。 ●音量調節つまみは録音レベルに関係ありません。</p>  <p>点灯 約7秒 ゆっくり点滅</p>		
5 停止ボタン押す。  <p>テープの停止/取出しボタンを押すと、CDは一時停止状態となります。その後、CDの停止ボタンを押してCDを停止させます。 ●CDの停止ボタンを押すと、ディスクは止まりますが、テープの録音は続きますので、停止/取出しボタンを押してテープの録音を止めてください。</p>		
6 ディスクとテープを取り出し、電源を切る。  <p>ディスクとテープを取り出します</p>		

便利な使いかた

CDシンクロ録音中にテープの片面を録音終了すると、CDは演奏中の曲の最初に戻って一時停止状態となります。(CDシンクロ録音は解除されません。)その後テープを入れ換えて録音ボタンを押すと、続けてCDシンクロ録音をすることができます。
 ●CDを「テープ」の両面に録音するとき、テープA面の録音を終了してからテープをB面に入れ換えれば、A面に途中まで録音した曲をもう一度B面の最初から録音することができ、便利です。

ご注意

- CDシンクロ録音中に働くCD操作部ボタンは停止ボタンのみです。停止ボタン以外は受け付けません。
- 好きな曲からCDシンクロ録音を始めるときには、14ページのダイレクト選曲で曲番を選んでから録音ボタンを押します。
- 録音中に、ファンクション切換スイッチをCD以外に切り換えますと、CDの演奏は停止しますが、テープの録音はそのまま続きます。

故障かな?と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なおアフターサービスについては25ページをご覧ください。

症状	原因と思われるところ	適切な処置方法	
共通部	電源が入らない。	1.電源コードの接続が不完全。 2.乾電池が消耗している。 3.乾電池の向きがまちがっている。 4.電源コードをACソケットに差し込んだまま、乾電池で動作させようとしている。	1.確実に接続する。 2.新しい乾電池と交換する。 3.乾電池の向きを正しく入れる。 4.電源コードをACソケットから抜く。(8ページ参照)
	スピーカーから音が出ない。	1.音量調節が最小になっている。 2.ヘッドホンが接続されている。	1.音量調節つまみで音量を上げる。 2.ヘッドホンをはずす。
CD部	CDプレーヤーが演奏しない。	1.ディスクが裏返しになっている。 2.ディスクが汚れている。 3.規格外のディスクを使用している。 4.ディスクに傷があったり、そっている。	1.ディスクを入れなおす。 2.ディスクの表面をきれいにふく。 3.ディスクを交換してみる。 4.ディスクを交換してみる。
	CDの音が途切れる。	1.ディスクに傷などの欠陥がある。 2.ディスクが汚れている。	1.ディスクを交換してみる。 2.ディスクの表面をきれいにふく。
ラジオ部	F Mの放送とき “シャー”という音が出る。特にステレオ受信時にめだつ。	1.アンテナの入力電波が弱い。	1.ロッドアンテナの方向を変えてみる。
	A M放送のとき “ジー”という音が出る。特に夜間や電波の弱い局ほど大きい。 “ブーン”という音(同調ハム)が出る。	1.セットの近くにある電気器具(テレビ、蛍光灯など)の影響を受けている。	1.電気器具の電源を切ったとき、雑音が消えるときは、その器具からセットを離す。 1.電源プラグの差し込みを逆にすれば直ることがあります。
テープ部	カセットテープが入らない。	1.カセットテープの向きが上下逆になっている。	1.テープが見える側を下にして入れる。
	テープの音が悪かったり、ひずんだりする。	1.ヘッドが汚れている。 2.乾電池が消耗している。	1.ヘッドを清掃する。(6ページ参照) 2.新しい乾電池と交換する。
	録音できない。	1.カセットテープの誤消去防止「ツメ」が折れている。 2.一時停止ボタンが押されている。	1.「ツメ」を確認する。(18ページ参照) 2.一時停止ボタンを押し、一時停止を解除する。
録音ボタンが押せない。	1.カセットテープが入っていない。 2.カセットテープの「ツメ」が折れている。	1.「ツメ」の折れていないカセットテープを入れる。 2.「ツメ」の折れていないカセットテープを入れる。または、折れた「ツメ」の穴をテープでふさぐ。(18ページ参照)	

保証とアフターサービス (必ずお読みください。)

修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、「故障かな?と考える前に」(25ページ)をお調べください。それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 年名: CX-77S
2. 症状: できるだけ詳しく

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取り扱い店を紹介させていただきます。

アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

保証について

●この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

CDラジオカセットレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

■ラジオ部

受信周波数 FM/TV1~3 CH:76~108 MHz
AM:530~1,605 kHz
アンテナ FM/TV:ロッドアンテナ
AM:フェライトアンテナ

■テープレコーダー部

トラック方式 コンパクトカセットステレオ
テープ ノーマル
周波数特性 40~13,000 Hz

■CDプレーヤー部

使用ディスク コンパクトディスク
直径:120mmおよび80mm
周波数特性 20~20,000 Hz
チャンネル数 2チャンネル
ピックアップ 半導体レーザーピックアップ

■共通部

スピーカー 8 cmコーン型
出力端子 ヘッドホン出力:(3.5φステレオミニジャック)
適合インピーダンス
8~300Ω

実用最大出力 1.2W+1.2W(DC)
1.3W+1.3W(AC)
電池持続時間 [単2形乾電池R14PU(SG)使用時]
約4時間 (EIAJ CDプレーヤー再生時、VOL 3時程度)

約12時間 (EIAJ FM入力信号録音時)
電源 本体用: AC 100V.50/60Hz共用
(付属の電源コード使用)
: DC9V単2乾電池6個使用
(別売り)

消費電力 11W
最大外形寸法 338(幅)×178(高さ)×230(奥行き)mm
質量(重量) 約2.9kg(乾電池含む)

■付属品

電源コード 1

●仕様およびデザインは改良のため予告なく変更することがあります。

■著作権について

あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物(ミュージックテープなど)の作製も同じように著作権法により保護されています。さて音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したテープなどの使用には一定の制限があります。

- たとえば、
- 放送やレコード、録音物から録音したテープを売ったり、配ったりすること、あるいは貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
 - レコードや録音物またはそれから録音したテープや、放送から録音したテープを営利(店のBGMなど)のために使用すること。これらの場合には著作権法上権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会(JASRAC)」もしくはそのよりの支部におたずねください。

日本音楽著作権協会 (JASRAC)
〒105 東京都港区西新橋1-7-13
TEL (03) 3502-6551 (大代表) FAX (03) 3508-8183

- 北海道支部 (業務地域 北海道)
〒060 札幌市中央区北1条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL (011) 221-5088 (代表) FAX (011) 221-1311
- 盛岡支部 (業務地域 岩手・青森・秋田)
〒020 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL (0196) 52-3201 (代表) FAX (0196) 52-4010
- 仙台支部 (業務地域 宮城・山形・福島)
〒980 仙台市青葉区中央2-1-7 仙台三和ビル
TEL (022) 264-2266 (代表) FAX (022) 265-2706
- 長野支部 (業務地域 長野)
〒380 長野市南千歳2-12-1 日本団団生命長野ビル
TEL (026) 225-7111 (代表) FAX (026) 223-4767
- 大宮支部 (業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟)
〒331 大宮市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL (048) 643-5461 (代表) FAX (048) 643-3567
- 上野支部 (業務地域 東京都23区の城東地区・茨城)
〒110 東京都台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL (03) 3832-1033 (代表) FAX (03) 3832-1040

- 東京支部 (業務地域 東京都23区の東部・千葉)
〒104 東京都中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目
TEL (03) 3562-4455 (代表) FAX (03) 3562-4457
- 西東京支部 (業務地域 東京都23区の西部)
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 3232-8301 (代表) FAX (03) 3232-7798
- 東京イベント・コンサート支部 (業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨)
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160 東京都新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL (03) 5286-1671 (代表) FAX (03) 5286-1670
- 立川支部 (業務地域 東京都の市・郡部・山梨)
〒190 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL (0425) 29-1500 (代表) FAX (0425) 29-1515
- 横浜支部 (業務地域 神奈川県)
〒231 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL (045) 662-6551 (代表) FAX (045) 662-6548
- 静岡支部 (業務地域 静岡県)
〒420 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL (054) 254-2621 (代表) FAX (054) 254-0285
- 中部支部 (業務地域 愛知・岐阜・三重)
〒450 名古屋市中村区名駅2-45-7 松岡ビル
TEL (052) 583-7590 (代表) FAX (052) 583-7594
- 北陸支部 (業務地域 石川・富山・福井)
〒920 金沢市香林坊2-3-25 金沢日産生命ビル
TEL (0762) 21-3602 (代表) FAX (0762) 21-6109
- 京都支部 (業務地域 京都・滋賀・奈良)
〒600 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL (075) 251-0134 (代表) FAX (075) 251-0414
- 大阪支部 (業務地域 大阪南部・和歌山)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-0351 (代表) FAX (06) 244-1970
- 大阪北支部 (業務地域 大阪北部)
〒542 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL (06) 244-7077 (代表) FAX (06) 244-1970
- 神戸支部 (業務地域 兵庫県)
〒650 神戸市中央区海岸通6番地 建隆ビルII
TEL (078) 322-0561 (代表) FAX (078) 322-0975
- 中国支部 (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)
〒730 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL (082) 249-6362 (代表) FAX (082) 246-4396
- 四国支部 (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)
〒760 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL (0878) 21-9191 (代表) FAX (0878) 22-5083
- 九州支部 (業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本)
〒812 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL (092) 441-2285 (代表) FAX (092) 441-4218
- 鹿児島支部 (業務地域 鹿児島)
〒892 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL (099) 224-6211 (代表) FAX (099) 224-6106
- 那覇支部 (業務地域 沖縄)
〒900 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL (098) 863-1228 (代表) FAX (098) 866-5074